

マンスリータイムズ

和歌山県立 新宮高等学校
令和元年度 2019年4月版

10連休のGW中に平成が終わりを告げ、令和の時代が幕を開けました。「初春の令月にして 気淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫らす」という万葉集の文言からこの令和という元号が引用されましたが、「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。そんな新宮高校でありたいという願いを込め、新時代第1号のマンスリータイムズをお届けします。

入学式 4月5日



平成最後の入学式が176名の新入生を迎え4月5日に挙行されました。学校長からの入学許可・式辞の後、桃井陸翔君が入学生代表の宣誓を力強く行いました。新入生の皆さんには1日も早く高校生活に慣れ、充実した毎日を送ってほしいと思います。



チューリップ満開

昨年度末に生徒会執行部が中心となって植えたチューリップがちょうど満開になり、玄関に飾って新入生達を迎えました。今年の入学式は桜とチューリップ花満開の入学式でした。

新任式・始業式・対面式 4月8日

4月8日、今年度は1年生から3年生全校生徒が揃って新任式・始業式が行われました。新任式では10名の先生が壇上で挨拶を行いました。始業式に続いて行われた対面式では生徒会長古根川君の挨拶の後、新入生を代表して大西ひなたさんが「よろしくお願いします。」と挨拶を行いました。



身体測定・スポーツテスト 4月11日



4月11日、身体測定とスポーツテストを実施しました。身体測定では身長・体重・視力・聴力を測り、スポーツテストでは立ち幅跳びや握力・反復横跳びなどの種目を体育館で行いました。グラウンド種目の50M走やハンドボール投げは後日、体育の授業で実施しました。測定の結果やいかに？



クラスマッチ 4月25・26日



例年7月に行われていたクラスマッチを今年は4月に行いました。前夜に警報が出て実施が危ぶまれましたが、2日間とも天候に恵まれ順調に日程をこなすことができました。結果はすべての種目で3年生が優勝と先輩の貫禄を見せつける形になりましたが、2年生も1年生もよく健闘していました。勝ち負けは関係なく、この2日間を通してクラスや学年の絆が強まったのではないのでしょうか。

